

江別市議会

第4回 「市民と議会の集い」

◎11月12日／日曜日

1. 開会 (14:00～14:10)

- 開会宣言：議会広報広聴委員会委員長
- 開会挨拶：江別市議会議長
- 趣旨説明：議会広報広聴委員会副委員長

2. 意見交換 (14:10～15:55)

- 総務文教常任委員会：公共交通について
- 生活福祉常任委員会：子育て政策について
- 経済建設常任委員会：除排雪について
- 市立病院・地域医療検討特別委員会
- フリータイム

3. 閉会 (15:55～16:00)

- 閉会挨拶：江別市議会副議長
- 閉会宣言：議会広報広聴委員会委員長

◎11月16日／木曜日

1. 開会 (19:00～19:10)

- 開会宣言：議会広報広聴委員会委員長
- 開会挨拶：江別市議会議長
- 趣旨説明：議会広報広聴委員会副委員長

2. 意見交換 (19:10～20:25)

- 総務文教常任委員会：公共交通について
- 生活福祉常任委員会：子育て政策について
- 経済建設常任委員会：除排雪について
- 市立病院・地域医療検討特別委員会
- フリータイム

3. 閉会 (20:25～20:30)

- 閉会挨拶：江別市議会副議長
- 閉会宣言：議会広報広聴委員会委員長

各会場の参加議員と意見交換のテーマ

江別市民会館：11月12日（日）14:00～16:00						
総務文教	◎島田泰美	○徳田哲	岡村繁美	齋藤一	角田一	
テーマ：公共交通について						
生活福祉	◎齊藤佐知子	○星克明	諏訪部容子	堀直人	三角芳明	
テーマ：子育て政策について						
経済建設	◎石田武史	○高橋典子	尾田善靖	宮川正子	山本由美子	
テーマ：除排雪について						
病院特別	◎清水直幸	○赤坂伸一	岡村繁美	齊藤佐知子	宮本忠明	吉本和子

大麻公民館：11月16日（木）19:00～20:30						
総務文教	◎島田泰美	○徳田哲	相馬芳佳	干場芳子	本間憲一	宮本忠明
テーマ：公共交通について						
生活福祉	◎齊藤佐知子	○星克明	裏君子	清水直幸	鈴木真由美	吉本和子
テーマ：子育て政策について						
経済建設	◎石田武史	○高橋典子	赤坂伸一	内山祥弘	野村尚志	
テーマ：除排雪について						
病院特別	◎清水直幸	○赤坂伸一	内山祥弘	島田泰美	相馬芳佳	本間憲一

議会運営委員会の概要

◎委員会の概要

議会運営委員会は、平成3年に地方自治法の改正にともない法制化された組織で、地方自治法109条第3項には、「議会運営委員会は、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、請願を審査する」と定められており、その内容は①議会の運営に関する事項（第1号）、②会議規則、委員会に関する条例等に関する事項（第2号）、③議長の諮問に関する事項（第3号）とされています。

議会運営委員会は、議会を円滑に運営するための手続きを協議する機関であり、議長を支える機関（裏方的存在）としての働きもありながら、ある意味、議会の意思決定機関とも言えます。議会運営上の手続きに係わる様々な課題を議論するわけですが、現状、江別市議会では、全会派が一致できるよう議論を進めており、全会派一致となら無い場合には、協議を終了させています。

江別市議会では、平成25年3月25日に「江別市議会基本条例」を制定し、平成25年4月1日に施行しましたが、それより12年前の平成13年より議会改革に取り組んでいます。議会改革は、主に議会運営委員会で協議しています。これまで、議員定数の削減、費用弁償の廃止、政務調査費明細や行政調査報告書の公開、本会議のインターネット中継の実施など、様々な改革に取り組んできました。今後もより積極的に議会改革に取り組めます。

現在、江別市議会の議会運営委員会の定数は10名です。江別市議会は会派制を取っていますので、会派の人数に応じて委員数が決まります。各会派の委員数は、自民クラブ3名、民主・市民の会3名、公明党2名、江別未来づくりの会1名、共産党議員団1名です。議会運営委員のメンバーは、以下の10名です。

○委員長　：諏訪部容子

○副委員長：相馬芳佳

○委員　　：石田武史／岡村繁美／齊藤佐知子／高橋典子／角田一／野村尚志／干場芳子／
宮本忠明

総務文教常任委員会の概要とテーマ説明

◎委員会の概要

- 定数：9人
- 任期：2年
- 所管部局：総務部、企画政策部、会計課、教育委員会、監査委員、
選挙管理委員会及び公平委員会の所管に属する事項、
他の常任委員会の所管に属しない事項

◎テーマ：公共交通について

近年、道内・道外を問わず人口減少や少子高齢化が加速度的に進展することにより公共交通事業を取りまく環境が年々厳しさを増している中、特に地方部に於いて、移動のための交通手段に関する利用者の選好の変化により、地域公共交通の維持に困難を生じていること等が、明らかになっています。又、社会経済情勢や地域住民の生活にも影響を与える事から、地域公共交通の活性化及び再生を推進することが重要となってきました。

江別市に於いては、今までバス輸送システム検討懇談会や公共交通検討会議を、更に平成26年10月には地域公共交通会議を立ち上げる事でバス交通の利用促進・情報提供の推進・交通機能の向上の検討のほか、路線再編に向けた基礎データの収集のため、平成27年10月から4ヵ月間バス実証運行等に取り組んできたところです。一方、市としてバス路線の減便・廃止の現状を鑑み、バス事業者に単独補助として年額100万円を負担してきており、その他に国・道の補助もありますが、何れも財政状況は非常に厳しく、公費による補助には限度があることは周知の通りです。

その様な中、平成28年8月より事業者・利用者・学識経験者等で構成する「地域公共交通活性化協議会」を立ち上げ、現在は持続可能な公共交通網を構築するため、「地域公共交通網形成計画」の策定を進めているところです。この計画は平成30年3月を目途に計画案を取りまとめる予定であり、現在策定に当たって市民からの意見を募集しています。私達、総務文教常任委員会では今回の「市民と議会の集い」で現在の取り組みをご理解して頂く事と同時に、市民の皆さんのご意見を伺う中で今後の公共交通のあり方を探っていきたいと考えています。

生活福祉常任委員会の概要とテーマ説明

◎委員会の概要

- 定数：9人
- 任期：2年
- 所管部局：生活環境部、健康福祉部、消防本部

◎テーマ：子育て政策について

江別市は、「子育て応援のまち」として、「えべつ・安心子育てプラン」の基本理念にもあるように、子育て環境や教育の充実を図り、未来を担う子どもたちが心豊かに元気に育つ事が出来る魅力あるまちづくりを進めています。それには、安心して子どもを産み育てることができ、就業と子育てを両立できる環境を整備することで、親が不安なく仕事に向かう事が出来、子育てが楽しいと思えるまちづくりが大切です。そのための、保育の待機児童解消に向けて、0歳児から2歳児までの待機0に向けて、よつば保育園の定員拡大の他、認定こども園や小規模保育施設の整備への支援など保育環境の充実を図っています。現在、市内では保育園6園、認定こども園8園、小規模保育施設7ヶ所そして、事業所内保育環境が3ヶ所となっています。

本年8月より、子育て世帯の経済的負担を軽減するために、3歳以上の未就学児の通院医療費について、課税世帯の負担を初診時一時負担のみとする軽減措置を行っています。

さらに、安心して子育てできる環境整備の一環で、新たにスマートフォンを活用した子育てサービスの情報の配信などで、子育て提供サービスの充実を図っています。電子手帳アプリ（無料）を活用して子育てに関する情報やイベント案内などを配信するサービスです。全国で初めて医師や心理カウンセラーへの無料web相談機能も備えており、いつでも無料で相談出来ます。また、地域での遊びや交流の場として、気軽に利用できるように利便性の高い商業施設内に、子育てひろば「ぼこあぼこ」を開設しています。季節や天候を気にせず遊べる子育て支援施設です。子育て支援コーディネーターが様々な相談をお受けしています。その他にも、お子さんが急病の際に保育する環境として病児・病後児保育を実施しています。

経済建設常任委員会の概要とテーマ説明

◎委員会の概要

- 定数：9人（現在8人）
- 任期：2年
- 所管部局：経済部、農業委員会、建設部、水道部

◎テーマ：除排雪について

江別市の除排雪についてですが、除雪する道路の長さは約730キロメートル程度ですが、この道路の長さというのは、おおよそ江別市から釧路市に行って帰ってくる距離と等しい距離ということです。そして、この距離を、降雪時には、除排雪出動基準に従って、深夜から四時間ほどですべての除雪を終わらせています。

一般に除雪車が出動する通常の場合は、連続した降雪によって深夜の降雪量が10センチメートルを超えた場合や、地吹雪等で路面状態が悪くなった場合に、午前7時ころまでに作業を終えるように、担当する地域内の車道・歩道の除雪を行っています。また、日中の除雪作業は、交通障害が予想される場合を除き、安全のため、翌朝に対応するなど、諸条件を考慮して行っています。

排雪作業については、幹線道路で車線の確保が困難となりつつある場合や、交差点の見通しが悪化しつつある場合等に、状況を判断しつつ運搬排雪をしています。また、自治会排雪事業として、自治会が生活道路の排雪を行う場合に、運転手付きのダンプカーとロータリー車（運転手は別）を市が無料で貸与しており、平成28年度では全体の9割以上に当たる100の自治会で実施しています。

これらの除排雪については、より良い除排雪のための意見交換の場として、平成26年度から、江別、野幌、大麻、豊幌の4地区を対象として、市民、事業者、市の三者が集まり除排雪三者懇談会を実施しています（平成27年度からは小ブロックとして2地区の自治会を追加）。そのほかに、社会福祉協議会が行っている福祉除雪サービスなどがあり、これらを含めて、市民に向けた除排雪の情報提供を広報やホームページ等で行っています。

市立病院・地域医療検討特別委員会の概要

◎委員会の概要

市立病院の経営状況について、及び市立病院の現状についてご報告申し上げます。

初めに、市立病院の経営状況についてですが、平成29年4月から6月までの3カ月の経営状況は、入院患者数の実績合計は延べ2万813人、1日平均にいたしますと229人となり、計画の262人に対し33人少なくなっております。また、外来患者数は、実績が延べ4万968人、1日平均661人で、同じく計画を74人下回っているほか、病床利用率は、一般病棟が74.4%、地域包括ケア病棟が61.9%、精神病棟が46.5%で、全体では67.9%となっております。診療収益は、入院、外来合わせて13億8862万1000円で、計画を1億7919万7000円下回っており、医業費用では、計画より9297万7000円少ない14億5256万3000円となっております。その結果、一般会計繰入金などのその他医業収益を含めた医業収支差し引きでは、当初、4億858万8000円の収入超過と見込んでいたところ、計画より8973万6000円少ない3億1885万2000円となったとのことであります。

次に、市立病院の現状についてですが、平成18年の医師の大量退職を初め、市立病院を取り巻く環境変化など、これまでの経緯について報告を受けたほか、病院事業の具体的な運営経過として、資料に基づき、決算、患者数、診療単価、医師数、病床数、一般会計繰入金などの推移について検証してまいりました。このほか、市立病院の今後の方向性を模索する上で、道内他市の市立病院における経営状況や経営形態の見直し状況のほか、医療機器等の更新計画についても報告を受けたところであります。

現在の市立病院は、全国の公立病院や民間病院と同様に、患者数の伸び悩みが続く傾向にあるほか、内科医の減少の影響などにより、依然として厳しい経営状況にあると言えます。一方、平成28年4月に導入したDPC制度や、同年5月に設置した地域包括ケア病棟の効果により、入院の診療単価が上昇傾向にあることから、今後の推移を見守る必要があります。また、地域の中核病院として良質な医療を提供しながら、診療体制の強化や経営改善に向けたさらなる取り組みを続けておりますことから、今後も引き続き、鋭意、調査を進めてまいりたいと考えております。

以上、当委員会のこれまでの調査報告とさせていただきます。



本日はご参加いただき、誠にありがとうございました
 今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします

次回の江別市議会定例会のお知らせ

11月28日／火曜日	定例会初日
11月29日／水曜日	(常任委員会開催予定)
11月30日／木曜日	(常任委員会開催予定)
12月1日 /金曜日	(常任委員会開催予定)
12月4日 /月曜日	(常任委員会開催予定)
12月5日 /火曜日	(常任委員会開催予定)
12月7日 /木曜日	一般質問
12月8日 /金曜日	一般質問
12月11日／月曜日	一般質問
12月13日／水曜日	定例会最終日

※日程は変更される場合があります。詳しくは議会事務局 (011-381-1051) へお問い合わせください。